

地域包括ケアシステムの構築に 向けた取り組み

～地域包括支援センターの機能強化について～

函館市保健福祉部
高齢福祉課

地域包括支援センターの機能強化に向けた取り組み

1. PDCAサイクルの実施による機能強化

効果的で効率的なセンター活動が展開できるように、**地域診断※**に基づいたPDCAサイクルの実施に向けたアプローチ。

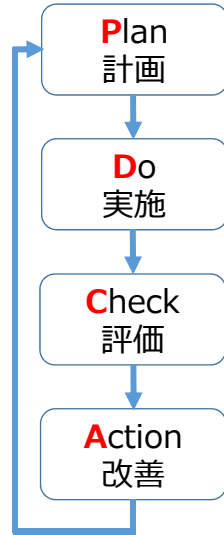
※地域診断とは

地域住民の健康状態や生活状況、環境などの量的データおよび質的データを収集して、地域住民の生活に関わる問題点を明らかにし、その問題が発生する要因への対策を立てること。

2. 地域ケア会議の推進を通じた機能強化

○圏域ごとの地域ケア会議により抽出された地域課題を集約・整理し、**地域ケア全体会議を開催。**

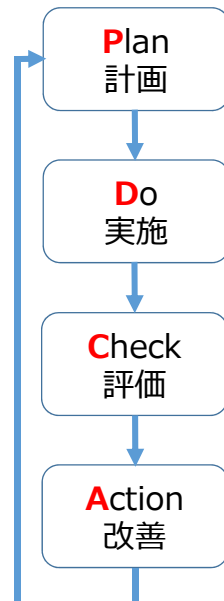
1. PDCAサイクルの実施による機能強化



効果的で効率的なセンター活動が展開できるように、**地域診断に基づいたPDCAサイクルの実施に向けたアプローチ。**

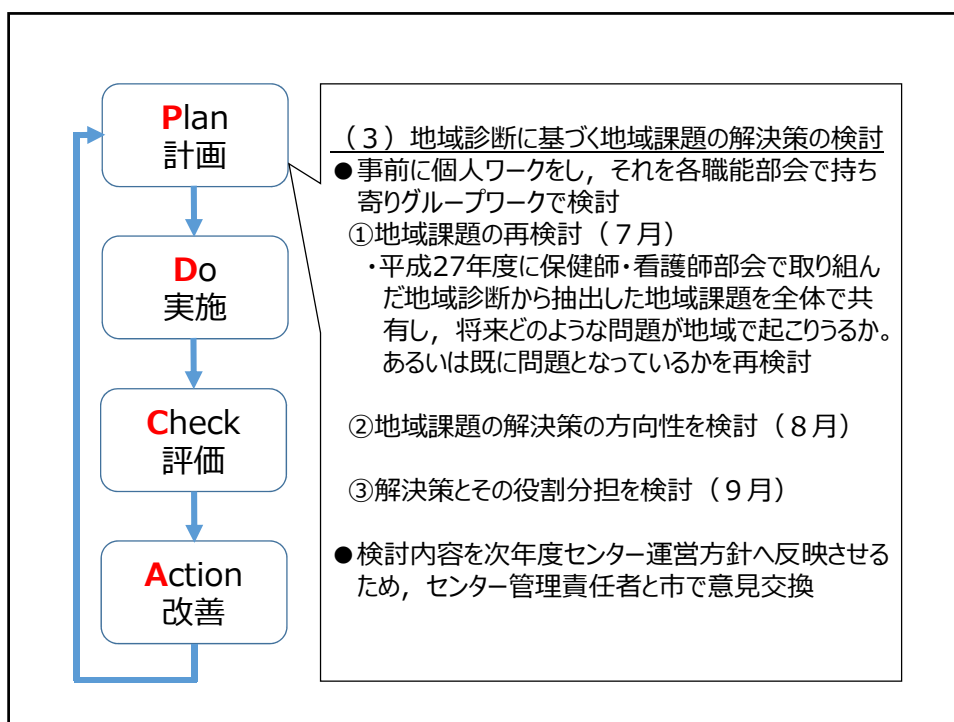
(1) 平成27年度センター活動実績の評価

- ①これまでの事業ごとの計画数値の達成状況に加え、センターの活動状況をより詳しく集計
- ②集計したものへ考察を加え、事業別およびセンター別の課題を抽出
- ③センター運営協議会で協議しセンターへ提示



(2) 平成28年度センター活動計画作成への支援

- ①計画書様式についての検討（市・センター）
 - ・PDCAサイクルによる計画の作成が行えるように様式を変更
- ②活動計画の原案作成（センター）
 - ・センター内で協議を行い活動計画を作成
- ③ヒアリングの実施（市・センター）
 - ・センター運営事業実施方針の重点事項、圏域の特性、前年度実績を踏まえた課題を反映しているかの確認
 - ・センターの重点項目等について意見交換
- ④活動計画の修正・完成（センター）
 - ・ヒアリングの内容に基づき、必要時活動計画を修正



<実施結果>

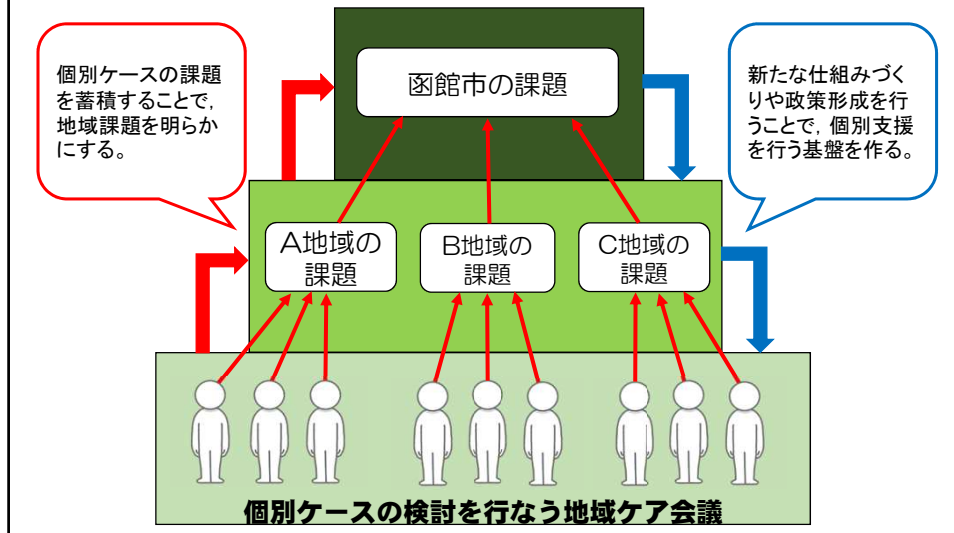
- 活動計画については、各センターにおいて圏域の課題とその背景について現状分析できており、さらに前年度の課題を踏まえた立案ができていた。
- 地域課題に応じたセンター活動としては、医療機関との連携強化の課題に対し、社会福祉士部会が『相談シート』を作成し、各圏域の医療機関へ高齢者虐待対応の協力依頼をするという対策へつながった。
- 地域診断については、個人ワークとグループワークを取り入れ、地域課題の共有には有効であった。検討した解決策については次年度のセンター活動計画へ反映できるよう今後もアプローチが必要。

<今後の取り組み>

- 平成28年度センター活動の評価への支援をし、今後もPDCAサイクルの実施に向けたアプローチを継続する。
- センター活動実績を評価し、効果的で効率的にセンター活動が展開できているかを確認していく。

2. 地域ケア会議の推進を通じた機能強化

<地域ケア会議の体系>



- **個別ケースの検討を行う地域ケア会議**
 - ・地域包括支援センターが主催
 - ・個別ケースについての検討を通して、担当者レベルのネットワーク構築，地域課題の把握，介護支援専門員をはじめとする支援者の支援力の向上を行う
- **地域課題の検討を行う地域ケア会議**
 - ・地域包括支援センターが主催
 - ・日常生活圏域の地域課題の把握と解決策の検討を行う
- **函館市地域ケア全体会議**
 - ・高齢福祉課が主催
 - ・政策的な対応が必要な課題や市全体の課題についての解決策の検討を行う

<地域ケア全体会議の目的>

認知症になっても住み慣れた地域でその人らしい生活を営むために、地域住民同士がお互い支え合える地域づくりを行う

函館市の高齢者の状況 (現状・推計)

- ・全国平均を上回るペースで少子高齢化が進行している
- ・支援を必要とする高齢者の増加

地域ケア会議で把握された 地域課題

- ・認知症高齢者等が地域で生活するうえで、地域住民の偏見・互助力の低下が全市的な課題となっている

<平成28年度の取り組み内容>

1回目 H28.8.29実施

- 函館市の高齢者の状況やこれまでの地域ケア会議の取り組みについて報告
- 講師による、「地域包括ケア」「地域包括ケアシステム」等についての講話



＜平成28年度の取り組み内容＞

2回目 H28.10.8実施

- 認知症・独居の高齢者が地域で生活をするために必要なサポートの検討（グループワーク）



＜平成28年度の取り組み内容＞

3回目 H28.12.3実施

- 認知症の方を介護している家族からの報告
- シンポジウムの開催
- 今後の取り組みについての共有



＜今後の取り組み＞

～地域包括ケアシステムの構築に向けて～

- 認知症の人の理解者・協力者を増やす取り組み
 - ・地域での見守り，異変に気付く視点，相談先を盛り込んだ講座の実施
 - ・居宅介護支援事業所，地域包括支援センター，行政で専門職と地域がつながる仕組みづくりの検討
 - ・地域ケア全体会議での検討内容についての周知
- 認知症の人の火災リスクを減らす取り組み
 - ・認知症サポーター養成講座や出前講座に火災予防の内容を盛り込む等，火災予防についての知識の普及
 - ・燃料店の方を対象とした認知症サポーター養成講座の周知